

自蹊庵便り

令和三年 弥生

NO 149

（京都 八瀬の一年）

築七十年ほどの古民家を京都の皆様が見つけてくださり、一年がたちました。

御縁というものの不思議を思います。

廻り廊下はフカフカで抜け落ち寸前にございましたが、補強し、畳を敷きつめました。

廊下を畳にしたことで、座って庭を眺める機会も多く、近くの川音も聴こえてまいります。板敷きにしていたら、佇むことはあっても、座って憩うことはなかったかもしれません。座る時間が多いほどに、庭を愛でる時も自ずと多く、正門脇のお地藏さんの喉の渴きさえも分かり、座るということの恩恵を賜った一年にございました。

一昨年の新年の集いの折は、新型コロナウィルスなどというものの忍び寄る心配さえも感じられず、まなびやが出来たことをお集まりくださった皆様と共に心から喜びあったものです。

それから一月も立たずしてコロナ禍中にあれよあれよと振り廻されながらの一年に

ございました。

その禍中の只中にありながらも、皆様懸命に八瀬のまなびやを守るため、積極的に関わってくださった真心に深く深く感謝いたしております。

そのような中、心が痛みましたことは六月に私のために喜寿の祝いを密かに整え、念入りに準備していただきましたのに、間に断念の答えを出さざるを得なかったことです。誠に、皆様の真心を無にしてしまい、断腸の思いでの決断にございました。今も心に痛く染みついたままにございます。

コロナに憂い深まりゆくばかりの一年にございましたが、皆様お一人一人の尊い真心に支えられた一年でもありました。コロナは私達の間人力を育ててくれた年でもあったようですね。

九十九里近く東金の荒ら家の狭庭も、自蹊庵の名の如く、お人が訪ねてくださることで、自ずとそれなりの道ができてきたように、八瀬のまなびやも、庭も部屋も僅

か一年足らずで、気が満ちつつあります。

居は氣を移すといえます。（孟子 尽心上）
自蹊庵 八瀬のまなびやも、通い来る皆様の心の写された鏡のような姿、形になりつつあります。

不思議ですね。コロナに悩まされ続けた一年でしたのに、見事に庭の顔、家の顔がそこには育っております。御参加くださるお一人お一人の思いと真心を重ね重ねての一年の顔にございます。

誠に草一つむしる手に涙落つる思いにて、お人以外の宝はないと常々確信はいたしておりますが、八瀬に通われる皆様に心より感謝申し上げます。自主的な茶道の稽古も定着しつつあるようですね。暮れには除夜釜も実現したよし。うっすらと雪化粧した庭の風景と共に写メールをくださった会員の皆様の心意気に、骨折したばかりの手の痛みも、どんなに慰められたことでしょう。

大きな大きな一年にございました。

また、NHK文化センター梅田教室からは、十五名御参加の口切りの茶事も八瀬にて行われ、不備この上ない中、玄関に簡易クローゼット、庭にはわか仕立てながら、待合を作ってお迎えする等々、会員の皆様の行動力は何処からくるのでございましょう。決して私如きのなせる技ではありません。

山懐に抱かれ、川音を聴きつつ、お地藏さんの水を替えつつ思いますには、そこには大自然の優しい気に包まれた営みの顔、四季折々の顔を持っており、通ってくださいる皆様お一人お一人を守ってくださいるように思われてなりません。自然の営みの懐はかくも優しく、かくも偉大なのでは…。

通って来られる皆様が意識になくても、優しく満ちた気に包まれて、元気を養いお帰り頂いているのではないのでしょうか？

昨年春頃ばつさり切られてしまったゆえに昨秋は公孫樹の黄金色は見ることに叶いませんでしたが、きっと四〜五年もすれば少しは太古の生命体である公孫樹の気も頂けることでしょう。

この一年、お一人お一人の心身の健やか

さをお守りくださったお地藏さん、ありがとうございました。この一年の感謝の気持ちを表そうと、よだれかけを作っていたら、既に可愛い手作りのものを掛けてもらい、鈴を振る紅白の布まで新しくしてもらい、満足そうなお顔をしておられました。部屋には、年神様をお迎えするための室札が。隅々まで行き届き、注連縄にはなんと！優雅な鶴が飛んできておりました。

年神様も御満悦!!きつと、居心地良くゆつくりと滞在なさったことでしょう。美味しい一服を戴きましたか?どうぞ今年も八瀬のまなびやに集うお一人お一人をお守りくださいますように…。

比叡山の麓、山河に神宿り、気の満ちた自蹊庵、八瀬のまなびやをお守りくださいますように…。そして皆様が元気の気を頂いて帰る場でありますように…。

そう云えば昨年の正月、近くを散歩していて橋を渡ろうとしたら、大山椒魚さんに会いましたね。「始めまして、新参者ですの、宜しく!!」と挨拶したら、のそのそと近くまで寄ってきましたね。山椒魚さん、今年はまだお目にかかれず、御挨拶できずにおりますが、本年もどうぞ宜しくお願

しますね。

きつとあなたは、この川の神様のお使いなのだと思っています。また是非、お顔をを見せてくださいね。

私こと自蹊庵主は九十九里近く東金の荒屋と富士山の麓の水汲みのほったて小屋とで、私の微々たる労働力は一杯一杯にございませぬ。さりながら、東金の顔も通ってくださいる皆様お一人お一人が作り上げてくださった顔にございます。ああ、東京の神様達もすごいなあ…。このコロナ禍中、東京・神奈川は大変にございましたね。

今年はどうぞ上野の桜も千鳥ヶ淵の桜も愛でることができませぬように!

道志の水汲み小屋にあつては、富士の気をいっぱい頂き、山に祈り、九十九里にあつては、海に祈り、何処にも神はおわします。自然豊かな恵み多き日の本にございませぬ。

御挨拶

この度、四月より、NHK文化センター梅田教室において、オンライン料理教室を開催する運びとなりました。

二年に渡りコロナ禍にあつて、日常とい

うものが変わりつつあります。

仕事柄、茶の湯イコール茶事の世界は、特に密なる親睦を旨としております。参加したくても来られない皆様のために、何かできることは…との思いから、茶事懐石の基本である一汁三菜をオンラインにて発信させて頂くことになりました。

近畿ブロック統括・大阪総支社長であられる中山章様の御理解のもの、四月からスタートいたします。

昨今の食事情は魚離れと食品ロスの加速化が深刻になってきております。

若い方々には特に魚介類を捌くのはハードルが高過ぎて敬遠しがちかもしれません。しかしながら、海に囲まれている島国のDNAを受け継いできている日本人にとっては、免疫力を高め、健やかな体作りに欠かせないのが魚介類です。

一年を通して知らず知らずに魚が身近なものになり、楽しく学習して頂けるよう、カリキュラムを組んでおります。皆様に日本の持つ豊かな季節を感じていただけるよう、旬の力のある食材のみを使って、一汁三菜を試みます。

一人でも多くの皆様に御参加いただき、

豊かな食卓の一助となりますよう祈念いたしております。

令和三年二月吉日

鶴の茶寮亭主 半澤鶴子

四月より第一金曜日午後四時半からです。詳しくは、左記にお問い合わせください。

お申し込み・お問合せは、

NHK文化センター梅田教室

電話 06 6367 0880

ファクス 06 6367 0881

各種教室

四月に予定しておりました喜寿の会は六月と秋・紅葉の頃に二回に分けて予定しております。詳しくは次号に掲載いたします。

東金教室

弥生茶事（雛の点心）

三月十三日（土）準備

三月十四日（日）～十六日（火）

開始 午前九時

席入 正午
大網駅迎え 午前八時半

卯月茶事（観櫻）

四月十日（土）準備

四月十一日（日）～十三日（火）

開始 午前九時

席入 正午

大網駅迎え 午前八時半

会費 一万円（レギュラー者）

一万二千元（単発参加者）

○連日研修者は、翌日は五千元で参加できます。

○宿泊希望者は、早めにお申し込みください。

七名まで一泊二千元です。

京都教室

瑞峯院餘慶庵 弥生茶事（雛の点心）

三月六日（土） 午前準備

午後料理実習

三月七日（日）～九日（火）

正午茶事

研修者 午前九時

席 入 午前十一時半

八瀬にて

三月十日(水)

南方録、利休会記再現料理

三月十一日(木) 自由稽古

茶事教室会費

二万円(レギュラー)

二万三千元(年三回以上参加)

二万五千元(単発参加者)

八瀬の貴素の会 八瀬のまなびやにて

卯月の会

四月三日(土) 準備

四月四日(日) ~ 五日(月)

お花見弁当点心にて花鎮茶会

四月六日(火) 利休会記

四月七日(水) 自由稽古

※貴素の会 会費

レギュラー会員

全日程参加者 一万円

単発会員

一日五千元、半日三千元

※八瀬のまなびやの宿泊は、

コロナ対応の為中止しております。

利休会記を読み解く会

目黒・羅漢寺

三月二十日(第三土曜)

四月十七日(第三土曜)

午前十時から正午 昼食後解散

会費 五千元(昼食・一服)

三千元(会のみ)

柏グループ(柏の葉公園内会議室)

三月十七日(第三水曜)

四月二十一日(第三水曜)

午前十時から正午 昼食後解散

会費 五千元(昼食・一服)

三千元(会のみ)

栃木農園レストラン

口悦会・利休会記を読み解く会

午前十時から正午 昼食後解散

三月十八日(第三木曜)

四月十五日(第三木曜)

会費 五千元(昼食代別料金)

湯河原教室

口悦会・利休会記を読み解く会

初日・旬の食材を楽しむ会

二日目・利休会記を読み解く会

三月二十一日(第三日曜とその続き)

三月二十二日(第四日曜)

四月十八日(第三日曜)

四月十九日(第三日曜)

会費 五千元(一日のみ)

八千元(二日間)

※まだまだコロナ禍はおさまっておりません。御自分の体調、家族の状況などお考えいただき、御参加を御願ひします。マスクの着用など感染防止の御協力をお願いいたします。万一、体調不良の場合は、参加を御遠慮ください。